

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

第4学年 社会科学学習指導案

R2年度 那覇市様式

令和 年 月 日 () 校時14:00~
(〇〇小) 学校 4年 〇組 35名
指導者 ⑩

年間指導計画 (4) 学年 () 月計画 P. ()

学習指導要領に示す各教科等の「第2 各学年の目標及び内容 2内容」の項目等をそのまとまりごとに細分化したり整理したりしたもの。

1 単元の概要

単元・教材名等	廃棄物を処理する事業
内容のまとまり	第4学年内容(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」
単元の目標	廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を育成する。

2 単元の評価規準

(1)「知識・技能」(2)「思考・判断・表現」(3)「学びに向かう力、人間性等」に分けて記載してもよい。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 文末「～している」	①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。 文末「～している」	①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。 文末「～(しようと)している」

3 単元について

(1) 児童(生徒)観

レディネステストの結果などから、今までの学習で身に付いている資質や能力、不十分な点について記述する。

- 単元で身に付けさせたい力に対する実態把握について記述する。
- どこでどのようなつまずき(課題)があるかを分析し、指導観に記載する手立てと連動する。

(2) 教材観

単元目標と関連させ、本単元の学習課題を明確にして記述する。

- 学習指導要領との関連を示す。
- 単元(題材)の学習内容と、そのねらいを記述する。
- 適切な単元の構成内容であることを記述する。

(3) 指導観

ねらい達成に向けて、どこで、どのような手立てをするのか、指導のポイントを記述する。

- (1)(2)の記述を踏まえ、子どもの不十分な点を補う手立てを具体的に記述する。
- 目標に照らしてその実現状況を観点ごとにどのように評価するのかを記述する。

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

4 単元の指導計画(全10時間)

《形》形成的評価 《総》総括的评价

過程	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
つかむ	1	〇家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。	〇たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。	【思・判・表】①《形》 記録分析・発言分析 ・処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見出しているかを 確認する 。
	2	〇学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。	〇学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。 各時の学習内容とみとる観点を記載する。 【知・技】 【思・判・表】 【主体的態度】	【主体的態度】①《形》 記録分析・発言分析 ・学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているかを 確認する 。
調べる	3・4	〇清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。	〇見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができるようにする。	【知・技】①《形》 記録分析・発言分析 ・必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているかを 確認する 。
	5	〇リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を各種資料を活用して調べる。	〇資料を活用し、リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を調べることができるようにする。 《形成的評価》 文末「確認する。」 《総括的评价》 文末「記録する。」	【知・技】①《形》 記録分析・発言分析 ・必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているかを 確認する 。
	6	〇これまで調べてきたことをまとめ、さらに調べるべきことについて話し合う。	〇見学・調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができるようにする。	【主体的態度】①《総》 記録分析・発言分析 ・これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見出し、見通しをもって追究しようとしているかを 記録する 。
	7	〇市(区町村)がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べ、市の取組について考える。	〇市(区町村)が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。 単元の評価基準と対応していることがわかるように番号をふるとよい。例【思・判・表①】	【思・判・表】①《形》 記録分析 ・現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているかを 確認する 。
	8	〇学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。	〇調べたことをもとに、学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。	【思・判・表】②《総》 記録分析・発言分析 ・学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているかを 記録する 。
まとめる	9 本時	〇学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。	〇調べたことをもとに、学習問題について図や文にまとめることができるようにする。	【知・技】②《総》 記録分析 ・廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているかを 記録する 。
いかす	10	〇様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちができることは何か考え、発表し合う。 〇ごみを減らすために自分たちにできることについてノートに自分なりの考えをまとめる。	〇様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちが協力できることは何か考え、表現することができるようにする。	【思・判・表】②《総》 記録分析・発言分析 ・学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているかを 記録する 。 【主体的態度】②《総》 記録分析 ・単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているかを 記録する 。

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

5 本時の学習指導について

- (1) 本時の目標
- ・ 1つか2つにしぼっているか。 ・ 単元目標と合致しているか。

- (2) 授業仮説
- 「〇〇〇において、〇〇〇すれば、〇〇〇になるであろう。」
- 場・内容の限定 投入条件 身に付けさせたい力（資質・能力）
- 方法・手だて ねらい・めざす子ども

- (3) 本時の展開（第9時）
- 教材研究や授業展開に沿ってマイノートを活用し、検討する。

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○教師の手立て □予想される児童（生徒）の反応	評価項目(方法)
導 入 （ ） 分	1	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・ 本時の目標を確認し、児童生徒に学習の見通しをもたせるような、「めあて」を児童生徒向けの言葉で提示する。 ・ 児童生徒の学習意欲を促すような資料、問題提示の工夫する。	どの観点で どのような方法 で評価するのか を記載する。
		めあて	
展 開 （ ） 分	2	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。	【知・技】②《総》
	3 (1)	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・ 予想される児童生徒の反応と、それに対応した教師の手立てを順序立てて記述する。 ・ 自分の考えを書く活動を取り入れる。 ・ ペアやグループ、全体でかかわり合い、学び合う活動を取り入れる。 ・ 支援を要する児童生徒のつまずきとそれに対応した教師の手立てを書く。 〔支援を要する児童生徒への手立て〕	〈概ね満足〉 ・ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
	(2)		〈十分満足〉 ・ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを 具体的な事実と関係づけて 、理解している。
	(3)		単元の評価規準を具体化し、本時において1～2観点を評価する。
ま と め （ ） 分	4	まとめ	
	5	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・ 「めあて」と正対した「まとめ」について記述する。今日の授業で「何を学んだか」を明確にする。児童生徒の言葉を生かしてまとめる。 ・ 本時の学習で分かったことやできるようになったこと、次の課題などについて、児童生徒に振り返らせる。	

本時の授業のどこで、どのような指導の在り方や方法を提案しようとしているのか、学習指導要領を踏まえて簡潔にまとめる。

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

- (4) 板書計画（写真も可・項目だけでなく、実際に板書することを書く・ICT機器の活用について）